

Patient Information

赤字で示した箇所の明記が必須です。

症例番号	8	性別	女性
検者	XX	年齢	XX 歳
手術日	##年 ##月 ##日	手術部位、手術レベル	後頭蓋
診断	左片側性顔面けいれん	術式 (手術方法)	神経血管減圧術
麻酔方法	XXXXXX		

※以下の項目は、脊椎脊髄手術で経頭蓋電気刺激—運動誘発電位 (Tc-MEP) モニタリング施行例のみ記載してください

Tc-MEP 増幅法 (該当する方法に○)	増幅法なし double train法	multi-train法 tetanus刺激法	TOF値 (モニタリング開始時)	
--------------------------	------------------------	----------------------------	---------------------	--

Comment	<p><u>記録電位</u></p> <p>AMR ABR (BAEP)</p> <p><u>刺激部位 (刺激電極設置部位) ・ 刺激強度</u></p> <p>AMR: 刺激電極 患側顔面神経前頭枝、下顎枝：針電極2本ずつ 刺激強度：AMR運動閾値から20mAまで徐々に変化。</p> <p>ABR: 刺激電極：両耳外耳道にイヤホン留置 刺激強度 片側刺激 各々95dB 12.3Hz</p> <p><u>記録電極設置部位 (モニタージュ)</u></p> <p>AMR; 記録電極 患側顔面前頭筋、口輪筋：針電極2本ずつ ABR (BAEP) : 基準電極C3,CzC4 記録電極A1,A2 6モニタージュ作成</p> <p>MMT<3の記録筋</p> <p><u>所見</u></p> <p>AMR: 術前mappingも問題なくでき、術開始後開頭時に波形記録したが、0.6mA,0.9mAでそれぞれfrontal bからの刺激、mandibular bからの刺激でAMRきれいに出た。小脳retract, lower N dissection, VII,VIII dissectionでは全く変動無し。REZのAICAを少し移動させたら、一気に20mAでcomplete disappearした。その後も一度も波形再出現することなく、手術終了までmonitoringした。とてもillustrativeというか、典型的な症例。Transpositionはperforatorで難しく、脳幹部にfibrin glueでつけようとしたが、これもじゅうぶんではないため、interpositionを併用した。図1 - 3 frontalis stim uppermontage m. frontalis, lower m. oris. 図1 開始時閾値0.6mA図2 : VII,VII剥離時。図3 : はずしたとき。一気に20mAまでflat.図4, 5 mandibular b stim 図4 : 開始時閾値0.9mA図5 20mAまでflat</p> <p>ABR: 術開始時はV潜時6.6mSで最大振幅は0.3uV程度。これをbaselineとした。髄液排除では問題なかったが、flocclusをVIIIと直角に引いたのだが、これをすると潜時が延長する。このため、小脳半球面にretractorをおいて、flocclusは吸引で圧押しもらった。最大に波形悪化は平坦までなったが、圧迫解除にて、潜時1.5mS遅</p>
---------	---

申請者の署名 (印字可) が必要です。

Signature ○×△□

Patient Information

れ、振幅50%まで回復したところで、OKサインを出しながら手術は進行した。最終には振幅は元通り、潜時も0.5mS遅れまで改善。健側は変動無し
図1 - 5左刺激
図1：硬膜open
図2：潜時1mSおくれ、図3いったんflat後一回ずつ振幅上昇。図4：硬膜閉鎖開始。図5最終。図6右耳刺激最終。

判定 上述

術後：直後よりHFS完全消失。聴力障害無し。

次ページにモニタリング波形を貼付してください。

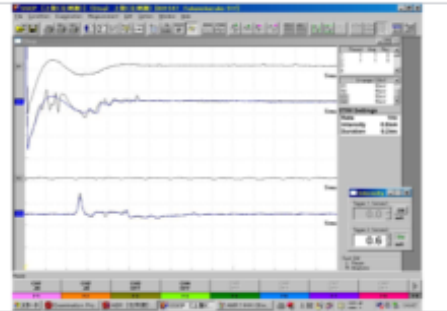
- スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。
- 提示する波形はスケールアウトしないよう、また、小さすぎないようにサイズを調整し、個々の波形が判別できるように波形の間隔を調整してください。
- 少なくともベースライン波形、手術終了時の波形、あるいは波形の変化があった波形を提示してください。

※**ベースライン波形**：侵襲的操作前に手術操作により影響を受ける可能性がある基準となるモニタリング波形。

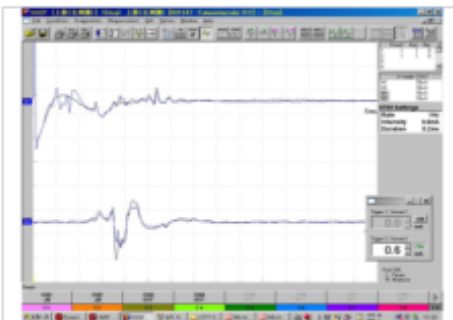
Patient Information

モニタリング波形 貼付(添付)

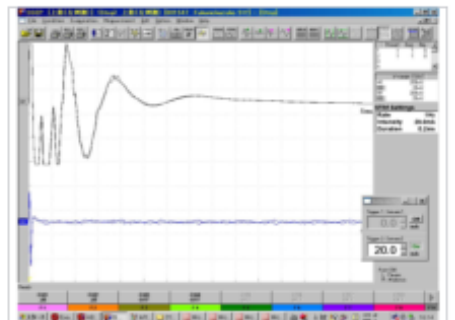
AMR Fig 1



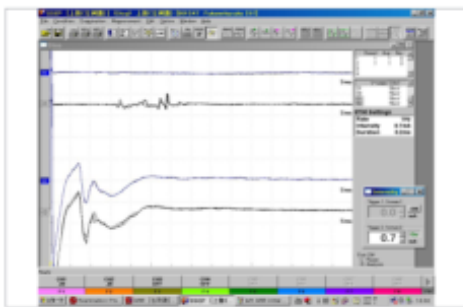
AMR Fig 2



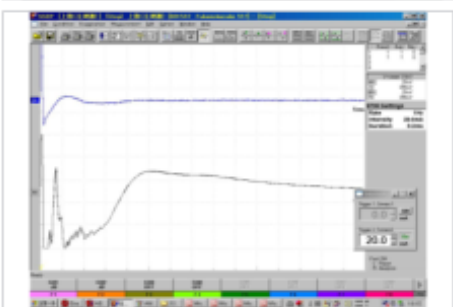
AMR fig 3



AMR fig 4



AMR fig 5



ABR

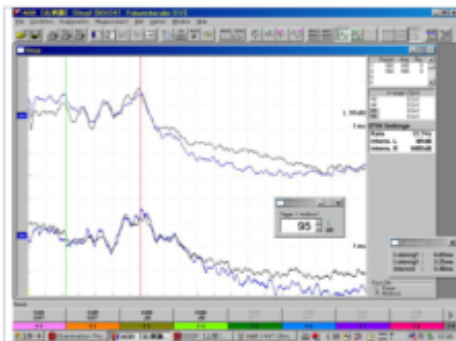


Fig. 1

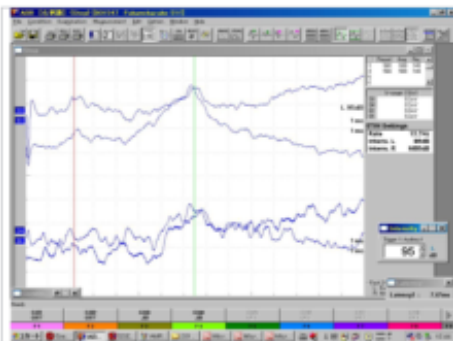


Fig. 2

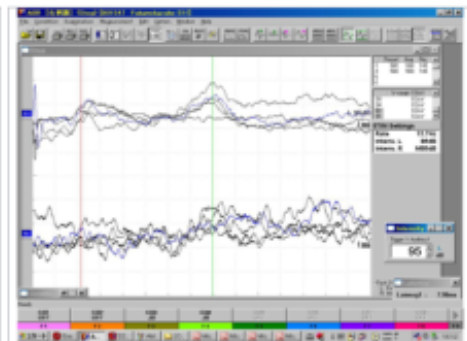


Fig. 3

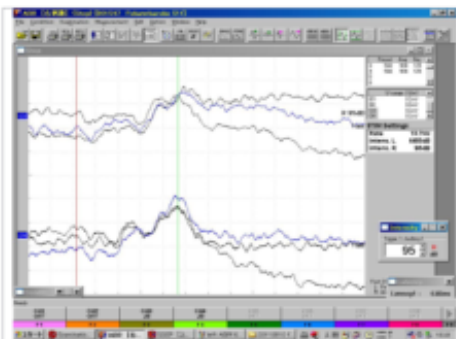


Fig. 4

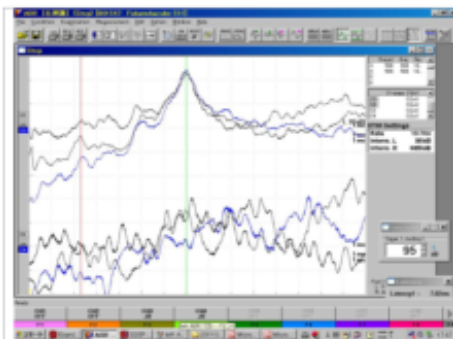


Fig. 5

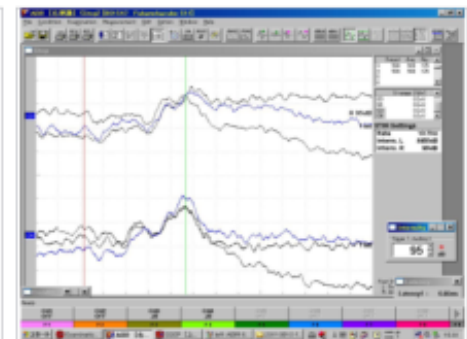


Fig. 6